

呈大藏卿大隈重信閣下

ジョーンピットマン 拝具

上海ニ於テ千八百七十七年三月二十日

余ハ曩キニ本月七日附ケノ愚書ニ約定書寫ハ

通ヲ添ヘ昔原氏ニ托シ謹テ閣下ニ送呈セリ

所陳貸付金即チ海關テール五百萬ノ残額借入

ノ委任ハ「シ」ト「イ」之ヲ擔當辨理シ局ヲ結

フニ堪ヘサルヲ以テ遂ニ「ウ」ト「イ」(ウ、シ

ン、ナ)ニ歸シタリ

「ウ」ト「イ」ハ一富豪ニシテ「ハン」チ「名地」銀

行管理者ノ任ニ居レリ曾テ東洋銀行及ヒ「イ」

飛澤景

大藏省



ルディーン、マツ井ソシ社中ニ國債ヲ募リシ片モ
 其約定ニ干預シタル人ナリ且又「カンシュ」及ヒ
 センシ名省ノ總督ナル「ツン、タン」委任ヲ受
 ケテ其金銀出納ヲ取扱ヘリ
 「ウー、トイ」カ當港ニ於テ金銀ノ取引ヲナス
 外國商賈ハ日耳曼人「テルゼ」氏ノ外ニ一人モ
 アルナシ因テ過ル數ヶ月間未タ殘額借入ノ委
 任「ウー」ニ歸センカシ「ウー」ニ歸センカ判然セサル
 ニ付キ余ハ屢々「ウー、トイ」及ヒ「テルゼ」氏
 ニ引合ヲナシタリ

「ウー、トイ」タイハ殘額借入委任ノ權ヲ擔當スル
 ニ方リ之ヲ余ニ通知セリ余カ見込ニテハ成ル
 一クハ「ウー、トイ」タイ「ウー、トイ」ノ兩氏ヲシ
 テ互ニ相敵視スルノ状ヲナサス共ニ戮カシ以
 テ事ヲ成サシメン「ウー」欲シ兩氏ノ間ニ立チ頻
 リニ共和ノ「ウー」ニ周旋盡カシタリ
 聊カ余カ盡カニヨリ遂ニ「ウー、トイ」タイヲシテ
 既ニ約成セル貳百五十万「ウー」借入ノ保証ヲ
 ナサシメ日本ヨリ要求スル保証金何程ニテモ
 出サレムル「ウー」ニ取計フ「ウー」ヲ得タリ

「ウー、トリータイ」ハ誠實ナル官吏ニシテ既ニ同氏ノ保証アルニ於テハ北京ニテ一毫ノ異議ヲ生スルノ憂アルナシ

右ニ官吏ヲシテ利益ヲ共ニシカヲ合サシムル所ハ是レニテ外部ヨリ刺衝シ来ル所ノ妨碍ヲ防クニ足レリ此上ハ日本ノ内乱平治ノ後政府ノ都合宜シク且ツ支那政府ニ於テ何レノ國ヨリモ未タ債ヲ募ラサルニ於テハ日本政府ハ貸金ヲナスモナサシムルモ其自由ニ任スヘシ

爰ニ約定ノ條款中少シク「ウー、トリータイ」ニ委任

セラレタル権限外ニ涉ル、一難事アリ「ハンタ」
「カントン」及ヒ「シンポ」ノ三税関ハ同氏ノ権内ニ在テ之ヲ抵当トナスヲ得レ且上海税関ニ至テハ然ラス去レ且此税関ノ如キモ百方盡力ニ供セテ都合四港ノ税関ヲ抵当トセンテヲ約諾セリ

爰ニ又閣下ニ報道セサルニカラス事アリ數税関ヲ舉示シテ抵當トナスモ又然ラサルモ其實一モ違フ所ナカルヘシ勿論或ル税関ハ他港ニ比スレハ過多ノ歳入アルモアリ又寡少ナル

モアレ氏到底皆ナ北京大政府ノ管轄ニ在リテ
 總テノ税関皆ナ負債償却ヲ擔當ス前々ヨリ支
 那政府ハ何レノ國ヨリ債ヲ募ルモ指名セル條
 約諸港歳入ノ内何部分ヲ以テ償却ニ充ツル事
 ノ一ヲ約セシメテナク債主ハ毎ニ唯支那政府ノ
 都合ニ任セテ其割付ケヲナサンメタリト
 二三ノ税関ヲ舉示シテ抵當トナストモ其實總
 テノ税関盡ク其償却ヲ擔當スルヤハ假令日本
 ノ抵當ニ寧波ヲ割付クルモ上海ヲ割付クルモ
 敢テ意ヲ置クニ足ラス曾テ東洋銀行ニ抵當ト

ナシタルハ「ハンカ」寧波及ヒ廣東ナリキ日本
 ノ抵當ニモ亦右三港税関ヲ以テスルハ蓋シ此
 例ニ據ルナリ然ルニ日本ハ今將テ四港税関
 ヲ抵當ニ得ントス
 又何故ニ抵當ハ古ノ數税関ニ限ルカノ事由ハ
 「ウー」ト「タイ」ニ關ク所ニ據レハ「フト」者「ア」モ
 「イ」及ヒ「ス」ワ「ト」ハ其地ノ通貨概テ「チ」ヨ「ツ」ア「ド」ル
 ラル（支那）支那人兩替店等ニテ一度此幣銀ヲ入手ス
 レハ則テ目印トシテ小圓形ヲ印ス故ニ全
 面數十穴ヲナシニシテ右税関歳入ハ該貨ヲ量
 恰モ痘痕ノ如クシナシニシテ右税関歳入ハ該貨ヲ量
 目ニ據テ收納スルハ故ニ之ヲ國債ノ元利償却ニ

充ツル為メニ幾許カ多量ノ純分ヲ含有セル蹄
 銀ニ交換スルハ甚タ困難トス此事由アルヲ以
 テ通例國債ノ抵當中ニ右三税関ヲ加ヘサルナ
 リ但右三港ヲ抵當トシタルハ香港上海銀行ニ
 國債ヲ募リシ中ノ一面アルノミト
 又「ウー、ト」タイヨリ余ニ償却時期ノ一ヲ申出
 タリ同氏ノ言ニ支那政府ハ其慣熟ニテ償却ハ
 總テ元利ヲ供セ毎六ヶ月或ハ毎十二ヶ月ニ十
 スヲ常トセリ
 是ノ故ニ今此慣熟法ヲ改ムルハ北京政府ノ會

計上大ニ差響ヲ起シ甚タ難シトスル所ナレハ
 之レニ從ヒ償却ノ時期ヲ定メ且ツ証書ヲ造ル
 ニモ亦六ヶ月或ハ十二ヶ月日期トシ元利ヲ供
 セ同時ニ償却スルノ式ニ據ラン一ヲ希望セリ
 知ラス閣下ハ曩ニ利息ハ毎六ヶ月元金ハ毎十
 ニヶ月賦納ト決定セラレタル償却法ヲ變更セ
 ン一ヲ肯ンセラルハヤ否然レモ若シ何レニテ
 モ格別ノ不都合ナケレハ成ルニキ丈ケ支那政
 府前々ノ外國債ニ付テ定例アル規則ニ基クテ
 余ハ可ナラント愚考スルナリ

往年支那政府ニテ外國債ヲ募ルニ當リ實地採
 用セル定例ハ百七十七日支那曆六ヶ月若シク
 ハ三百五十四日支那曆十二ヶ月ヲ期シテ元利
 償却ノ証書ヲ造リ其日附ケハ豫メ金負金額受
 取濟ミニ至ルハ某日ト期シタル其日ヲ以テシ
 談証書ヲ全額受取濟ミシノ日之レヨリ起算シテ
 百七十七日若シクハ三百五十四日トスルナリ
 例ハ日本第一國立銀行ニ募レル國債金額受
 取濟ミニ至ル日ハ八月十一日ト豫期セハ北京
 政府ニテハ其日即チ八月十一日ヲ以テ日附シ之レヨ

リ起算シ百七十七日若シクハ三百五十四日即チ
 千八百七十八年二月十四日若シクハ千
 八百七十八年七月三十一日ニ當ルチヲ期シテ
 元利同時ニ償却スヘキ税関証書ヲ発行スルナ
 リ
 然レモ右日附ケノ下ハ嘗テ閣下ヨリ余ニ示サ
 レタル所ト同シカラス故ニ若シ此慣熟ニ由ル
 下ヲ允許サレサルニ於テハ北京政府ニ在テハ
 素ヨリ萬端閣下ノ望マル、所ニ從ヒ証書ヲ造
 ラサルハカラサルハ論ヲ待タサナリ
 右「シ」ト「タイ」ヨリ申出タル所ハ毫モ約定大

體ノ主義或ハ緊要ノ條款ヲ改ムルトニ涉ルニ
 アラス唯証書ノ日附ケ及ヒ発行等ノ些末ノ事
 件ニ過キス右等ノ事若シ北京ニ於テ之ヲ緊要
 トナスニ當テハ「シ」ト「イ」ハ澁澤氏ノ承諾
 ヲ得ン「イ」ヲ希フナリ

右ノ如ク「シ」ト「イ」タイヨリ願フ所アルニ付キ
 之レニ代アルニ同氏ハ年末ニ至ラサレハ受取
 渡シノ運ヒニ至リ難キ「カ」氏ノ産物ヲ豫メ
 今日ニ在テ買取ラン「イ」ヲ約シ國債全額ノ内ヨ
 リ其價金六十万圓ヲ今年蝦夷産物収獲ノ時マ

テ猶豫スルヲ以テセントス

太田氏ヨリ聞ク所ニ據レハ若シ此事「シ」ト「イ」
 タイトノ相談整ナハ「閣下」ハ必ス請フ所ニ於
 テ許諾セサル「イ」ナカルヘント

余カ「シ」「ウ」ノ二官吏ニ結ハントニ周旋勉強ス
 ル所以ノモノハ他ナシ日本ト支那ト向來復々
 事ヲ共ニスル「イ」アル時ノ便宜ヲ今日ヨリ遠慮
 スル所アレバナリ右二官吏ヲシテ相和シ異議
 ナカラシメハ兩政府ノ間ニ事ヲ謀ルニ於テ蓋
 シ難キ「イ」アラサルナリ

此他約定ノ確實ナルヲ保センカ爲メニ右二官
吏ハ巨額ノ保証金ヲ銀行ニ預置カン一ニ用意
セリ

實ニ是等ノ二官吏ニ結フ一ハ日本ノ爲メニ大
ニ利アリテ毫モ害アルナカルヘシ

鋼錢艦ノ事

支那政府カ現ニ約定ニ取掛リタル鋼錢艦ノ事
ニ付テハ閣下ノ聽聞ニ供センカ爲メ委詳品川
氏ニ陳述シタリ然ルニ金銀ノ相庭ニ大ナル差
違アルニ因テ其約未タ整理ニ至ラヌ其次第ハ

英國ノ船艦請負主ハ磅金ヲ以テ價ヲ定メント
欲シ支那政府ハ一ニ銀ヲ以テ之ヲ定メント
欲シ其主意相支吾スルカ故ナリ

造幣局ノ事

在北京米國公使ハ現今當地ニ在テ頻リニ支那
造幣局ノ一ニ付テ德源シ香港ノ官吏ハ英國政
府ニ迫リテ英國「ドル」ヲ「鑄造」アラン一ヲ歎
願セリ

○英人商會ニテ金貨ヲ基トシ七分半乃至八分
ノ利息ニテ貸付ヲナスノ依托ヲ受ケタルモノ

29 + 22

年賦	元金	三百廿四日割子
第一	250,000	248,527 40
第二	250,000	223,674 86
第三	250,000	198,821 92
第四	250,000	173,969 18
第五	250,000	149,116 44
第六	250,000	124,263 70
第七	250,000	99,410 96
第八	250,000	74,558 22
第九	250,000	49,705 48
第十	250,000	24,852 74
計	2,500,000	1,366,900 70

左ニ表示スルモノハ三百五十四日賦納元利償却ノ計算ナリ

アリトノ話説ハ決シテ虚妄ニアラス

翻言記

大滄省